

◆一般会計のバランスシート＝総務省方式改訂モデル＝ (平成20年3月31日現在)

資 産

373億2,721万円

町にどのような資産があるかを表示。町はこれらの資産（土地、建物・現金など）を有効に活用することで、町民の皆さんにさまざまなサービスを提供することができます。

公共資産

有形固定資産 340億6,289万円
売却可能資産 2,471万円

投資等

投資および出資金 1億1,731万円
貸付金 150万円
基金など 16億7,694万円
その他 1億1,156万円

流動資産

現金預金 13億1,871万円
(うち歳計現金 8,271万円)
未収金 1,360万円

負 債

122億8,645万円

町にどれくらいの負債があるかを表示。毎年度の経費に加えて、これらの負債返済のため、町民の皆さんに負担を求めることになります。

固定負債

地方債 89億2,684万円
長期未払金 2億621万円
退職手当引当金 21億2,141万円

流動負債

翌年度償還予定地方債 9億3,221万円
その他 9,978万円

純 資 産

250億4,075万円

資産の形成に充てた国・県支出金、町税などから、資産形成につながらない行政サービスに伴うコストを差し引いたもの。

期首純資産残高 254億2,578万円
一般財源 48億4,854万円
国県補助金など 9億9,732万円
純経営行政コスト △62億3,089万円

財政 公表

バランスシート（平成19年度）を作成

町民1人
あたり
**資産は187万円、
負債は62万円**

町では、平成19年度の決算に基づきバランスシートを作成し

ました。バランスシートは財産の中身や財政状況を示した表で、

※昨年度までとは算定方式が異なりますので、比較数値は掲載していません。

貸借対照表と呼ばれるものです。「新地方公会計制度」の制定により、今回からバランスシートの算定方式が総務省方式改訂モデルに変わっています。

バランスシートの左側は町が所有する資産で、右側は資産形成に要した負債と純資産です。バランスシートを作ることによって、町にどれくらい財産があり、どのくらい借金を抱えているのかわらかになります。また、町が一年間に町民の皆さんの資産をどれだけつくることのできたのか把握することもできます。

一般会計のバランスシートは上表のとおりで、資産総額は373億2,721万円（町民1人当たり187万円）、負債総額は122億8,645万円（同61万5,000円）、純資産総額は250億4,075万円（同125万4,000円）となりました。また、町では一般会計と七つの特別会計、水道事業会計をすべて総計した「連結バランスシート」も作成しています。これによると町の資産総額は493億2,458万円、負債総額は181億6,635万円、純資産総額は311億5,823万円となっています。

◆問い合わせ 役場企画財政課
財政担当（☎82-3111）内線431へどうぞ。